

検討の観点	内容の特色
1. 内容	<p>目標設定が明確で、着実に学習を進められる単元構成になっている。 「何のために学ぶか」「何を学ぶか」が明確な単元構成となっている。 学習活動の流れが明示され、目的意識を持って学習を進めることができる。</p> <p>生徒の学びに向かう力を引き出す、明解かつ多様な教材である。 現代社会を反映した明解かつ多様なテーマの教材が配置されている。 単元構成や「学習活動」によって生徒の学びに向かう力を引き出し、「社会に開かれた教育課程」の実現が図られている。</p> <p>豊富な資料や図版・写真、丁寧な手順・事例解説である。 グラフ資料や図版・写真を豊富に掲載し、幅広い読み取りに対応している。 活動教材では、手順を丁寧に解説するとともに、モデル例も多数掲載されている。</p> <p>①育成したい資質・能力を明確にし、「情報を整理する能力」を育成することができる。 ・単元の冒頭、及び単元を構成する教材や学習活動冒頭に「つけたい力」として学習目標が提示され、教材の最後には学習を振り返る機会が設けられている。これにより、学習活動をとおして身についた力を自分で診断・評価し、次の学習にいかすことができるよう工夫されている。 ・学習指導要領に記載された指導事項をふまえて、「関係認識能力の向上」を観点とした学習の系統化を図っており、「基礎・基本」を段階的かつ体系的に、確実に習得できるよう構成されている。また、「知識及び技能」の「情報の扱い方に関する事項」が単元の学習過程に組み込まれている。 ・学習指導要領で示された資質・能力を育むための基盤となる学習活動が教科書紙面上に構成されている。学習活動をとおして、「示された情報の信頼性や妥当性を見極める能力」、「他者の主張や考えを的確に理解する能力」「自らの主張や考えを、相手に受け入れられるよう、論拠に基づいて効果的に構築する能力」、さらにこうした能力を統合して「立場や考えの異なる他者との的確な意思疎通や共通理解、課題を発見しその解決を導いていくための創造性や合理性を重視した他者との協働する能力」の育成に寄与するよう構成されている。</p> <p>②単元をとおして、批判的に物事を検討する方法を学ぶことができる。 ・各文章の後に「情報を整理するために」が配置され、「情報の妥当性を見極め」たり、「他者の主張や考えを的確に理解する」ための「読みの方略」が図解されている。 ・言葉による見方・考え方をはたらかせて、情報と情報との関係を捉えたり、考えを整理したり深めたりする方法として資料編に「思考の方法」が配置され、単元や教材の学習活動の中で活用することができるよう工夫されている。 ・これらの資料により批判的に物事を検討する方法を学ぶことができ、さらには各教材の読みをとおして学んだ考え方が、他の教材を読む際や自由な読書、表現活動などで利用できるよう工夫されている。</p> <p>③単元をとおして、自分の考えを形成し、論拠をもとに表現する方法を学ぶことができる。 ・全ての単元で「自分の考えを形成する学習過程」を重視し、読む学習で深めた認識をもとに自分の考えをより深めていく活動として、書く活動が位置づけられている。また、単に意見を書くだけでなく対話をとおして考えを深めたり問題を解決したりする学習活動が設定されている。 ・特に、第9・10単元の学習は読む学習の延長ではなく、志望理由書や卒業論文を作成するという、高校生にとってリアリティのある課題が設定されている。学習の成果を活用して書くことで、「論理的説明力を基盤にした論述力」が身についたことを実感できる構成となっている。</p> <p>④他者と関わる現実の社会において必要な国語の知識や技能が習得できる。 ・各教材には、漢字の音訓の使い分けや、形や読みが似ていることで混同しやすい熟語などが示され、理解できる語句と使える語句の量を増やすことができるよう工夫されている。また、各単元には教材のテーマと関連した語句の認識を深めるコラムが設置され、語感を磨き、情報内容のより深い理解を目指すことができるよう構成されている。 ・全体を通して、「伝え合い」「合意形成」「説得」などの他者との協働で行う学習活動が設定され、現代の社会生活において必要となる言語能力の活用を目指すことができる。</p> <p>⑤自らの学びを捉え直して次の学びにつなげることができる。 ・全単元に「振り返る」のページが設定され、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」の観点別に自分自身の学びを評価することができるよう構成されている。学びを振り返ることで、「何ができたか」「次の学びに向かうためにすべきことは何か」を考え、次の学習に活かすことができるよう工夫されている。</p>

『新 論理国語』（15 三省堂 論国 704）—検討の観点と内容の特色

検討の観点	内容の特色
	<p>⑥言葉と文化の継承・発展を目指すことができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末尾の「ブックガイド」は単なる「読書案内」ではなく、「表現」「教材」「単元のテーマに関わる本」という分類を基にして本が紹介されており、多様なジャンルの読書に誘うだけでなく、学習の際の手立てとなるよう工夫されている。 ・各単元の末尾に「探究の視点」を置き、単元で学んだことを広げて考えるためのテーマが配置されている。これにより、教材の読解に留まるのではなく、「社会事象の総合的理解と、それに基づく自分の考えの論述」を目指すことができ、「社会に開かれた教育課程」の実現を図ることができるよう構成されている。 ・補充教材として使える「学びを深める」の教材群が掲載され、さまざまな文章にふれることができる。
<p>2. 構成・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●計 10 単元で、「論理国語」として求められる「書く」「読む」各領域の学習内容を網羅している。 ●それぞれの単元において、「何のために学ぶか」「何を学ぶか」を明確化し、各々の学習内容に適した、明解かつ多様な教材を配置している。 ●テーマにそった教材を複数配置しており、教科書掲載順に学習しても、単元ごとに選択してもカリキュラムを組み立てることができる。 ●各題材に配置された、教材に関連したコラム、表現テーマ例集、読書案内等により、主体的な学び、および自学自習へとつなげることができる。 ●「学びを深める」では、各単元のテーマに関連した読みごたえのある文章を配置している。文章後の「読みナビ」で、内容理解のための問いや課題に取り組むことができる ●資料編には、「思考の方法」や「思考ツール」など、授業内で適宜参照できる情報が豊富に掲載されている。
<p>3. 表記・表現、及び指導上の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●挿絵や図版が適所に配置され、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えるものとなっている。 ●用語・記号は統一されており、生徒が理解しやすい記述になっている。 ●脚注は分量・内容とも適切である。また、平易な表現で記述されており、生徒の理解を助けるものとなっている。 ●資料編の「思考の方法」などは、文字による解説に加え、わかりやすい図解を用いることで内容を視覚的に捉えられるように工夫されている。 ●授業を支援する教師用指導書や教材、ICT ツールなどが充実している。教科書には学習をサポートする二次元コードがある。指導しやすく学習しやすい教科書である。
<p>4. ユニバーサルデザイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育ならびにカラーユニバーサルデザイン（CUD）の専門家の知見を参考に、ユニバーサルデザイン（UD）に配慮し、誰もが使いやすい教科書となるよう工夫している。 ●CUD への対応として、色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色になっている。識別しにくい配色は避け、色だけの違いに頼らず、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設け、色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるように配慮している。 ●教材で使用している文字に UD フォントを使用し、読み誤りなどが生じにくいように配慮している。
<p>5. 印刷・造本などの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●活字・写真・挿絵は鮮明で、かつレイアウトも工夫されており、学習に取り組みやすい教科書となっている。 ●教科書用紙は、環境の保護や資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用している。 ●印刷に使用しているインキは、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油のものを使用している。 ●製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。また、ページの開きがよく、読みやすい製本方式を用いている。
<p>【総合所見】</p> <p>生徒の学びに向かう力を引き出す明解かつ多様な教材が採録されており、学習過程や学習内容が明確で、言語活動の充実などが図られ、質的ならびに量的にも適切である。実社会に必要な国語の知識や技能の習得と、それらを活用して、思考力・判断力・表現力等の育成に資する工夫が随所に施され、主体的・対話的で深い学びができる。この教科書は、科目「論理国語」の目標である、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することに適した教科書である。</p>	